



# 東京都入札参加資格申請 (物品・委託) の概要



行政書士法人スマートサイド

代表行政書士 横内 賢郎

## 東京都行政書士会 文京支部 行政書士法人スマートサイド 代表行政書士・銀行融資診断士 横内 賢郎 (よこうち けんろう)



### 【主な経歴】

- 2014年 5月 行政書士登録  
新宿区大久保  
豊島区南大塚  
新宿区高田馬場
- 2020年10月 文京区小石川
- 2021年 7月 事務所を法人化

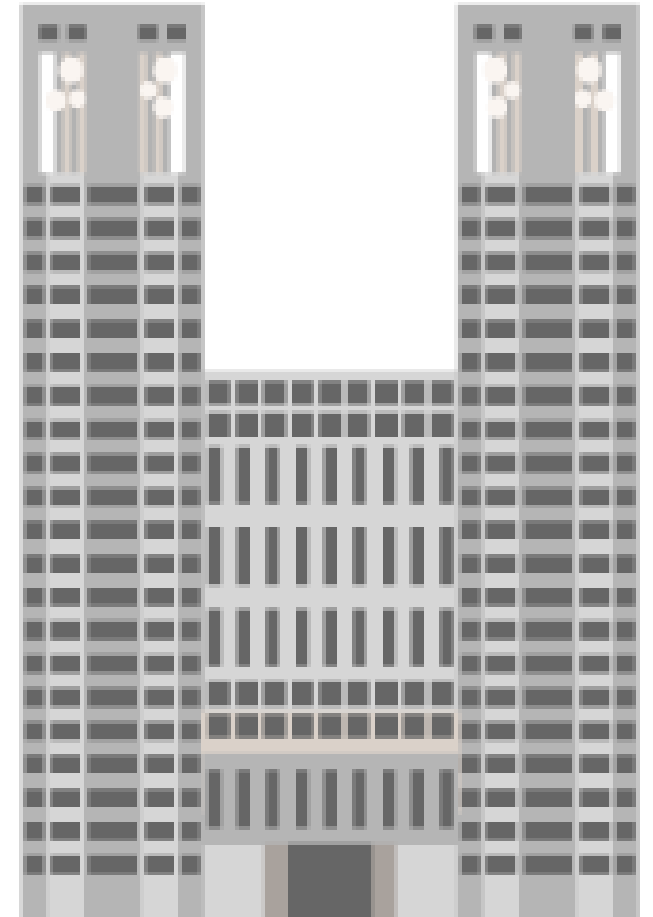
現在、私とスタッフ2名、  
全員行政書士登録済み

### 【主な業務】

- 入札参加資格の申請  
東京都、区市町村、全省庁  
神奈川県、埼玉県、千葉県  
大阪府、兵庫県 ほか
- 建設業許可の取得
- 経営事項審査の申請
- 産廃業の許可の取得
- 建築士事務所登録
- 宅建免許の取得

- ① 東京都の入札に興味がある
- ② 役所の担当者から、入札参加資格を持つように言われている
- ③ 民間取引だけでなく、公共の仕事にチャレンジしてみたい

…といった人向けに、東京都入札（物品・委託）の概略を理解してもらうためのセミナー



# 01

## 事前知識

- 01 東京都と東京都以外 ～資格の適用範囲～
- 02 工事と工事以外（物品・委託など）～資格の種類～
- 03 定期受付と随時受付の違い
- 04 資格の適用スケジュール
- 05 東京都電子調達システムを利用した電子申請





東京都内にある会社なんですけど、入札に参加したいです。  
「東京」の入札に参加するには、どうすればよいですか？

**東京都の入札？**

**東京都内区市町村の入札？**

**東京都**が発注する入札に参加したい → **東京都**の入札参加資格を！

**新宿区**が発注する入札に参加したい → **新宿区**の入札参加資格を！

同じ東京都内であっても、**「東京都」**と**「都内区市町村」**は別物です。

## 【東京都】 東京都電子調達システム

## 【都内区市町村】 東京電子自治体共同運営電子調達サービス



東京都電子調達システム E-procurement system

都庁総合トップページへ 財務局トップページへ

背景色を変更 白 黒 通常 文字サイズ 小 中 大

入札情報サービス	電子入札	資格審査	事前準備等
----------	------	------	-------

入札参加資格申請のお知らせ

新型コロナウイルス工事等の対応はこちら

ワクチン団体接種は都の会場へ申込を

契約制度を調べる

契約部署からのお知らせ

稼働時間

- 入札情報サービス 24時間365日
- 電子入札・資格審査 8:00~21:00 (土曜日を除く)

リンク

東京電子自治体共同運営サービス

~受発注取引のマッチングサイト~

システムからのお知らせ

過去ののお知らせはこちら

2022年3月31日 **【重要】** 【行政書士の皆様へ】 Microsoft Edge(Chromium版)対応について

2022年3月31日 **【重要】** 【事業者の皆様へ】 Microsoft Edge(Chromium版)対応について

2021年12月15日 **【重要】** URL変更に伴う環境設定等の実施のお願い

契約制度・契約部署からのお知らせ

過去ののお知らせはこちら

**【新着】** 1月のさらしのお知らせ(掲載期間1/12~1/17)

2023年1月12日 **契約部署** 下水道局西部第二下水道事務所庶務課 > 1月のさらしのお知らせ(掲載期間1/12~1/17)

**【新着】** 8 電子契約サービス利用届出書(標準様式)

2023年1月11日 **契約制度** 財務局 > 電子契約

**【新着】** 7 電子契約の活用について

2023年1月11日 **契約制度** 財務局 > 電子契約

**【新着】** 7 電子契約の活用について

2023年1月11日 **契約制度** 財務局 > 電子契約

**【新着】** さらしのお知らせ(令和5年1月10日~1月16日)

2023年1月10日 **契約部署** 下水道局中部下水道事務所庶務課 > さらしのお知らせ(令和5年1月10日~1月16日)

**【新着】** さらしのお知らせ(令和5年1月10日~令和5年1月16日)

2023年1月10日 **契約部署** 下水道局東部第一下水道事務所庶務課 > さらしのお知らせ(令和5年1月10日~令和5年1月16日)



東京電子自治体共同運営 電子調達サービス

背景色 白 黒 通常 文字サイズ 小 中 大

入札情報 電子入札 資格審査 事前準備 マニュアル

複数ブラウザ (Microsoft Edge・Google Chrome) への対応について (第三報)

Internet Explorer 11のサポート終了に伴い、令和4年6月1日より、Microsoft Edge (Chromium版) 及びGoogle Chromeに対応いたしました。本対応以降に電子調達サービスを利用する際は、Internet Explorer 11からのブラウザの変更をお願いいたします。

【事業者の方・行政書士の方、共通】

Microsoft Edge(Chromium版)またはGoogle Chromeで本サービスをご利用いただくためには、ポップアップブロックの例外設定が必要となります。

【事業者の方】

対応開始までに、電子入札サービス利用端末にインストールされている電子入札補助アプリを、Ver.1.1.0へバージョンアップしていただくよう、お願いいたします。

【行政書士の方】

対応開始後、行政書士用ソフトウェアを更新していただく必要があります。

また、Edge/Chromeでの印刷手順についてお知らせがございます。

設定方法の詳細は、本ページ掲載の「電子調達サービスからのお知らせ」をご確認ください。

競争入札参加資格の継続

はじめに ~このセミナーの目的~

1月は、5月決算事業年度の競争入札参加資格の継続申請の締切月です。

東京電子自治体共同運営協議会に参加している区市町村等の団体の競争入札参加資格の有効期限は、事業者ごとに異なっており、審査基準日(決算日)から1年8か月です。

また、継続申請に必要な財務諸表などの郵送書類の到着から審査に要する期間、審査となった場合は、さらに申請内容の訂正・再申請の期間が必要となりますので、締切月での申請は、20日頃までを目途に余裕を持って行ってください。

よくある質問 >

資格審査申請に関するご質問、電子証明書の取得に関するご質問等に、分かり易くお答えします。

電子調達サービスからのお知らせ

過去ののお知らせはこちら

2023年1月12日 お問い合わせ用FAXの一時利用停止について

2022年12月9日 Microsoft Edgeの更新に伴う発注書受領の操作について (対応完了)

2022年10月31日 入札参加資格申請の申し込み等マニュアルの更新のお知らせ

2022年10月13日 Windows11の推奨環境への追加について

2022年10月5日 申請プログラムダウンロード時の警告表示について

2022年8月4日 東京電子自治体共同運営協議会令和4年度情報セキュリティ監査等委託の入札

申請先自治体一覧 >

本サービスから競争入札参加資格を同時に申請できる、区市町村等(団体)をご覧ください。



## 【東京都】

- 東京都の財務局、交通局、水道局、下水道局など、東京都が発注する入札に参加できる
- 資格の有効期間  
最大で2年  
2年度ごとの更新手続きが必要
- 必要書類  
登記簿謄本、財務諸表

## 【都内区市町村】

- 新宿区、千代田区、中央区などの都内区市町村が発注する入札に参加できる
- 資格の有効期間  
最大で1年8か月  
毎年、更新手続きが必要
- 必要書類  
登記簿謄本、財務諸表  
に加えて納税証明書3通

## 【全省庁統一資格】

- 防衛省、環境省、国土交通省、海上保安庁などの国の機関の入札に参加できる
- 資格の有効期間  
最大で3年  
3年度ごとの更新手続きが必要
- 必要書類  
登記簿謄本、財務諸表に加えて、  
納税証明書その3の3

# 01

## 事前知識

- 01 東京都と東京都以外 ～資格の適用範囲～
- 02 工事と工事以外（物品・委託など）～資格の種類～
- 03 定期受付と随時受付の違い
- 04 資格の適用スケジュール
- 05 東京都電子調達システムを利用した電子申請





**NO**

入札 = 公共工事

**YES**

入札 = 公共工事  
以外もある



入札には公共工事だけでなく、  
「物品の販売」や「委託（役務の提供）」といったように  
公共工事以外の分野もあります。

東京都の場合、

**「物品」の営業種目が全部で、30個**  
**「委託など」の営業種目が全部で、37個あります。**

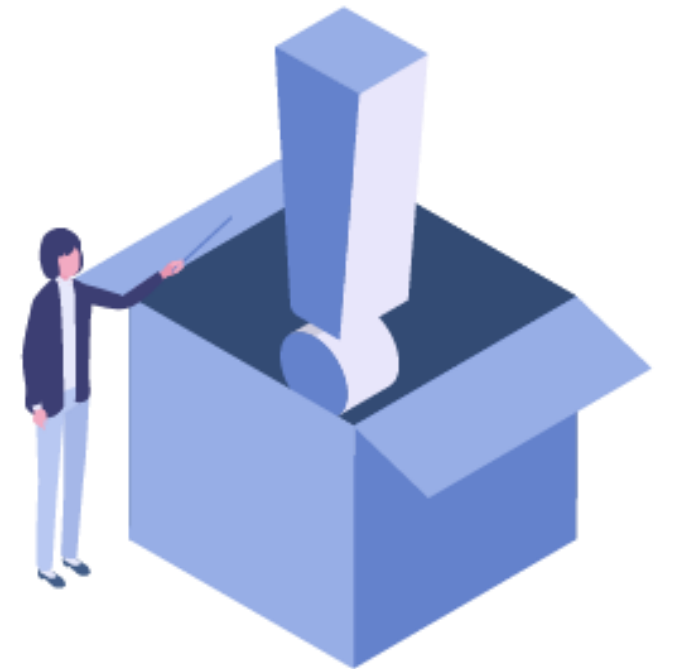
各営業種目の中には、複数の取扱品目があります。

※参考資料1を参照してください



**「どの営業種目、どの取扱品目を選択するか？」が、非常に重要になってきます。**  
**最大で10営業種目、1営業種目について8個の取扱品目まで選択することができます。**

- 通常、1～4業種ぐらいを選択する会社が多い
- 10業種全部選択する会社は、ほとんどない
- 営業種目、取扱品目は、自社の責任で選択
- 「儲かるなら、なんでもやる」は、ダメ



# 01

## 事前知識

- 01 東京都と東京都以外 ～資格の適用範囲～
- 02 工事と工事以外（物品・委託など）～資格の種類～
- 03 定期受付と随時受付の違い**
- 04 資格の適用スケジュール
- 05 東京都電子調達システムを利用した電子申請

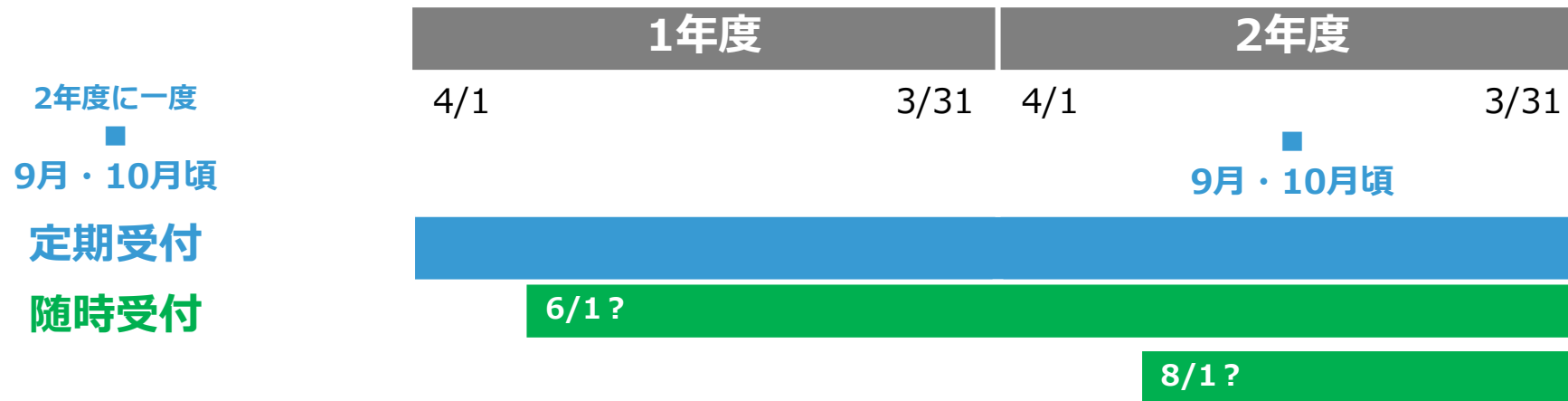


## ■ 定期受付

2年に1度行われる受付  
丸々2年間（2年度）の東京都の入札参加資格を取得できる

## ■ 随時受付

定期受付に申請しなかった場合でも、随時受付に申請できる  
丸々2年間（2年度）の東京都の入札資格を取得できるわけではない



# 01

## 事前知識

- 01 東京都と東京都以外 ～資格の適用範囲～
- 02 工事と工事以外（物品・委託など）～資格の種類～
- 03 定期受付と随時受付の違い
- 04 資格の適用スケジュール**
- 05 東京都電子調達システムを利用した電子申請



おおむね、毎月10日までに申請をすると、  
翌月1日からの資格適用（＝東京都の入札に参加できる）

（例）

- 2週間後には資格を取得したい → ×
- 明後日に期限が迫っている → ×
- 来月の入札に間に合わせたい → × (▲)



## 【申請受付期限】

## 【承認日】

## 【資格適用年月日】

6月10日	→	6月20日	→	7月1日
7月10日	→	7月20日	→	8月1日
8月10日	→	8月20日	→	9月1日



「6月11日」に東京都の入札に参加したい！と思っても、  
最短で入札に参加できるのは  
7月1日ではなく、**8月1日から。**

# 01

## 事前知識

- 01 東京都と東京都以外 ～資格の適用範囲～
- 02 工事と工事以外（物品・委託など）～資格の種類～
- 03 定期受付と随時受付の違い
- 04 資格の適用スケジュール
- 05 東京都電子調達システムを利用した電子申請**



# 東京都電子調達システムを利用した電子申請

東京都電子調達システムを利用するための、

**事前準備** = **電子証明書 + ICカードリーダーの購入**  
**パソコンの環境設定**  
が必要になります。

この点については、次ページ以降の手続きの流れで詳しく解説いたします。

# 02

## 手続きの流れ

- 01 ICカード（電子証明書）+ ICカードリーダーの購入
- 02 パソコンの環境設定（2段階）
- 03 電子調達システムからの申請
- 04 財務諸表など必要書類の電子送付
- 05 承認・否認の通知
- 06 翌月もしくは翌々月の1日からの資格適用、名簿登載



東京都の入札参加資格申請は、**電子申請**であるため、  
事前に ICカードと ICカードリーダーを準備することが必要。

## ICカードとICカードリーダーは、どこで買う？



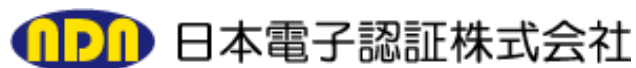
電子入札  
コアシステム  
対応の  
民間認証局

## 電子入札コアシステム対応の民間認証局とは？



電子入札コアシステム  
Electronic Bidding Core System

<https://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/inadvance/agencylist.html>



The screenshot shows the homepage of AOSign (日本電子認証株式会社). The main headline reads "電子入札コアシステム対応のICカード" (IC Card compatible with Electronic Bidding Core System). It highlights that AOSign has issued over 500,000 cards and is a "Sheer No. 1" provider. A prominent yellow banner offers a "アンケートご回答特典 初回とく割実施中!" (Survey response benefit, first-time special discount in progress!). The navigation menu includes Home, AOSign Services, Legal Certification Card Services, and other services. A sidebar on the left lists "重要なお知らせ" (Important notices) regarding Windows 11 support and SmartUSB II compatibility.



The screenshot shows the homepage of e-Probatio (NTT Business Solutions). The main headline is "電子入札の新しい窓口 e-Probatio" (New window for electronic bidding, e-Probatio). It features a large illustration of a man and a woman in business attire. The page includes a "サポートサイト" (Support Site) button and a contact number "0120-851-240". A section titled "管理ツールダウンロードはこちらをクリック!" (Click here to download management tools!) is visible. The page also mentions a "はじめて割" (First-time discount) and provides a "電子入札でお困りの方はこちらをクリック!" (Click here if you are having trouble with electronic bidding!).



The screenshot shows the "TDB電子認証サービス TypeA" (TDB Electronic Certification Service Type A) page on the Teikoku Data Bank website. The page features a large image of a "TDB 電子証明書 Type A" (TDB Electronic Certificate Type A) card. It lists several benefits: "Merit 1: 利用用途 業界No.1" (Merit 1: Usage, Industry No. 1), "Merit 2: 役立つ情報を無料でお届け" (Merit 2: Provide useful information for free), and "Merit 3: 専用ヘルプデスクで安心サポート" (Merit 3:安心 support with a dedicated help desk). The page also includes a "最近のよくある質問" (Recent frequently asked questions) section and a "住民票のマイナンバー記載に関するお問い合わせ" (Inquiry regarding the recording of My Number on the Resident Register).

## 【購入方法】

- 購入申込書
- 代表者の住民票
- 代表者の印鑑証明書
- 会社の登記簿謄本
- 会社の印鑑証明書 など

## 【カードの有効期間】

- 1～5年の間から選択

## 【カードの本体価格】

- 発行元によって異なる

## 【カードの受取方法】

- 本人限定受取郵便  
身分証明書を持って  
郵便局で本人が受取



**購入申込からカードの発行まで、1週間程度かかります！**  
**カードの購入申込は、余裕をもって行いましょう！**



## 【注意点】

**ICカードの名義人は、通常は代表取締役です。**

代表取締役以外の方が名義人になる場合、その人には「代表取締役の代わりとして、入札契約を行う権限」がなければなりません。

- 東京支社長・東京支店長 → ◎
- 事務担当・営業担当 → ✕



**ICカードは、カード名義人の住民票上の住所に、  
本人限定受取郵便で配達されます。**

**身分証明書を持って、郵便局まで受け取りに行く必要があります。**

(受取代理人を指定した場合を除く)

# 02

## 手続きの流れ

- 01 ICカード（電子証明書）+ ICカードリーダーの購入
- 02 パソコンの環境設定（2段階）**
- 03 電子調達システムからの申請
- 04 財務諸表など必要書類の電子送付
- 05 承認・否認の通知
- 06 翌月もしくは翌々月の1日からの資格適用、名簿登載



## 【STEP 1】

購入したICカードと  
ICカードリーダーを、  
パソコンで利用するため  
の環境設定

各種ソフトの  
インストールや  
動作確認



## 【STEP2】

東京都電子調達  
システムを利用するため  
の環境設定

信頼済みサイトへの  
登録やポップアップ  
ブロックの例外設定

電子証明書の登録



## 【SETUP】

ICカードリーダーに、  
ICカードを差し込んで  
PIN（暗証番号）を  
入力しログインできれば  
パソコンの環境設定が  
完了

## 【注意点】

- MacのPCは、電子入札に対応していないため、WindowsのPCを用意する必要があります。
- 特殊なセキュリティシステムを導入している場合、各種ソフトのインストールがうまく行かない場合があります。

# 02

## 手続きの流れ

- 01 ICカード（電子証明書）+ ICカードリーダーの購入
- 02 パソコンの環境設定（2段階）
- 03 電子調達システムからの申請**
- 04 財務諸表など必要書類の電子送付
- 05 承認・否認の通知
- 06 翌月もしくは翌々月の1日からの資格適用、名簿登載



## 【入力項目】

- 資本金、総資産、自己資本、総売上高などの経営状況
- 法人税、法人事業税、消費税などの税金の納税状況
- 申請する「営業種目・取扱品目」の選択
- 「営業種目・取扱品目」ごとの売上高の入力
- 常勤役員、正社員、パートタイマーなどの人数

多岐にわたります！

## 【例：X社】

### ● 直近の確定した決算の売上高（税抜き）が2億1千万円

「003：学校教材・運動用品・楽譜」の中の  
「01：教材」「09：運動用品」「11：運動衣」

「026：警察・消防・防災用品」の中の  
「16：災害用備蓄食糧」「19：警察装備品」

を選択する場合 …



## 【例：X社】

- 売上高2億1千万円を、営業種目ごと、取扱品目ごとに割り振らなければなりません。

営業種目	取扱品目	売上高（税抜き）
003 学校教材、運動用品、楽譜	01：教材	9000万円
	09：運動用品	4000万円
	11：運動衣	2000万円
【合計】		<b>15000万円</b>

営業種目	取扱品目	売上高（税抜き）
026 警察、消防、防災用品	16：災害用備蓄食糧	1500万円
	19：警察装備品	4500万円
【合計】		<b>6000万円</b>

# 02

## 手続きの流れ

- 01 ICカード（電子証明書）+ ICカードリーダーの購入
- 02 パソコンの環境設定（2段階）
- 03 電子調達システムからの申請
- 04 財務諸表など必要書類の電子送付 おおむね10日迄に完了
- 05 承認・否認の通知 おおむね20日迄に完了
- 06 翌月もしくは翌々月の1日からの資格適用、名簿登載



# 03

## 申請の際の注意点

- 01 申請までの標準的なスケジュール
- 02 一度選択した「営業種目・取扱品目」の修正は不可
- 03 許可や免許が必要な「営業種目・取扱品目」も



## 【作業内容】

- ① 住民票など電子証明書発行に必要な書類の取得
- ② 電子証明書発行申込から電子証明書の受領まで
- ③ 電子証明書の受領から、P C設定および電子申請の完了まで

## 【かかる期間】

→ **1週間？**

→ **1週間？**

→ **1週間？**

**合計で3週間？**



申請までに 3週間は、みの方がよいのでは？

# 03

## 申請の際の注意点

- 01 申請までの標準的なスケジュール
- 02 一度選択した「営業種目・取扱品目」の修正は不可
- 03 許可や免許が必要な「営業種目・取扱品目」も



# 一度選択した「営業種目・取扱品目」の修正は不可

申請の際に、選択した「営業種目・取扱品目」の**修正、変更、追加**は、資格の有効期間中、一切認めてもらうことができません。

あとになってから、

- 「115：広告代理」を追加したい
- 「005：荒物雑貨」を「007：繊維・ゴム・皮革製品」に変更したい

などの要望は一切認められていませんので、ご注意ください。

# 03

## 申請の際の注意点

- 01 申請までの標準的なスケジュール
- 02 一度選択した「営業種目・取扱品目」の修正は不可
- 03 許可や免許が必要な「営業種目・取扱品目」も**



# 許可や免許が必要な「営業種目・取扱品目」も

「営業種目・取扱品目」の中には、  
営業のための**許可、免許が必要**とされるものがあります。

営業種目	取扱品目	必要な許認可
099：不用品売買	02機械 03自転車及び自動車等 04遺失物	古物商の許可
112：廃棄物処理	04産業廃棄物処理（収集・運搬） 05産業廃棄物処理（中間処理）	産業廃棄物収集運搬業の許可
114：運送等請負	07一般旅客自動車運送事業	一般旅客自動車運送事業許可
190：その他の業務委託等	01旅行	旅行業の登録 代理店業の登録

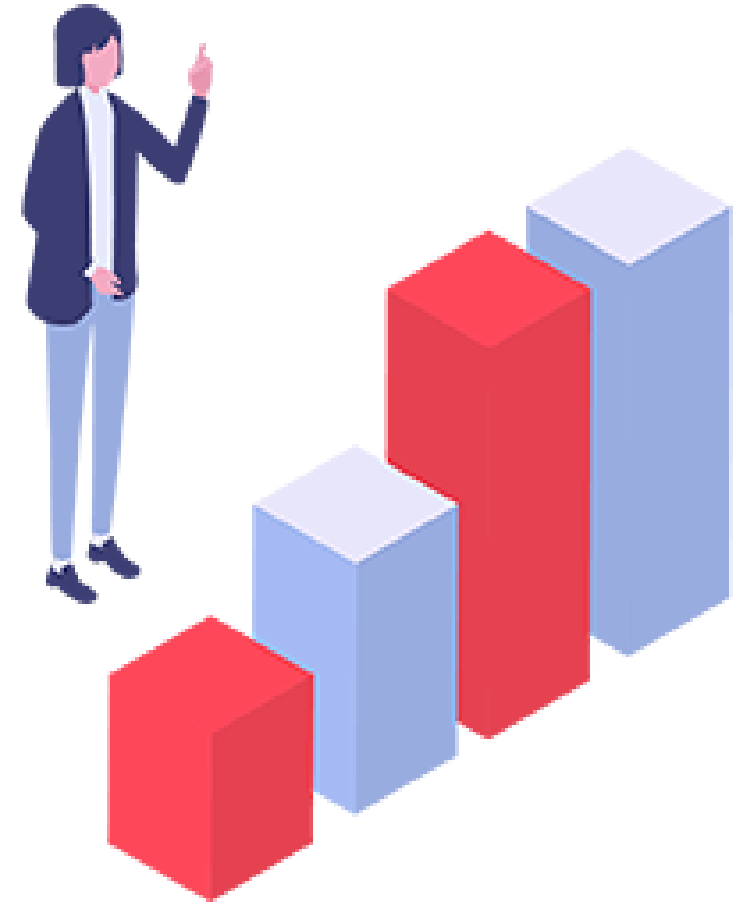


# 04

## 等級について

- 01 等級とは
- 02 等級を決定する格付の基準
- 03 等級についての注意点

※参考資料2を参照してください



## 【等級とは】

申請した営業種目ごとに付与される「A」「B」「C」といったランクのことを言います。

等級ごとに発注標準金額が割り振られます。

等級	発注標準金額
A	3,000万円以上
B	300万円以上～3,000万円未満
C	300万円未満

## 具体例：▲▲の実態調査の集計委託案件

令和〇年度の東京都の入札参加資格を有し、  
営業種目「**121**情報処理業務」の「**A**」又は「**B**」の等級に  
格付けされていること。

といった要件をつけて発注しています。

この場合、営業種目121の入札参加資格を持っていない会社は  
もちろんのこと、営業種目121の資格を持っていたとしても

「**C**」等級に格付けされている会社は入札に参加することができません。

なお、等級は東京都電子調達システムの中の競争入札参加資格有資格者名簿で公表されているため、誰でもネットから見ることができます。

Y社の

営業種目「010自動車・自転車」は 「A」

Z社の

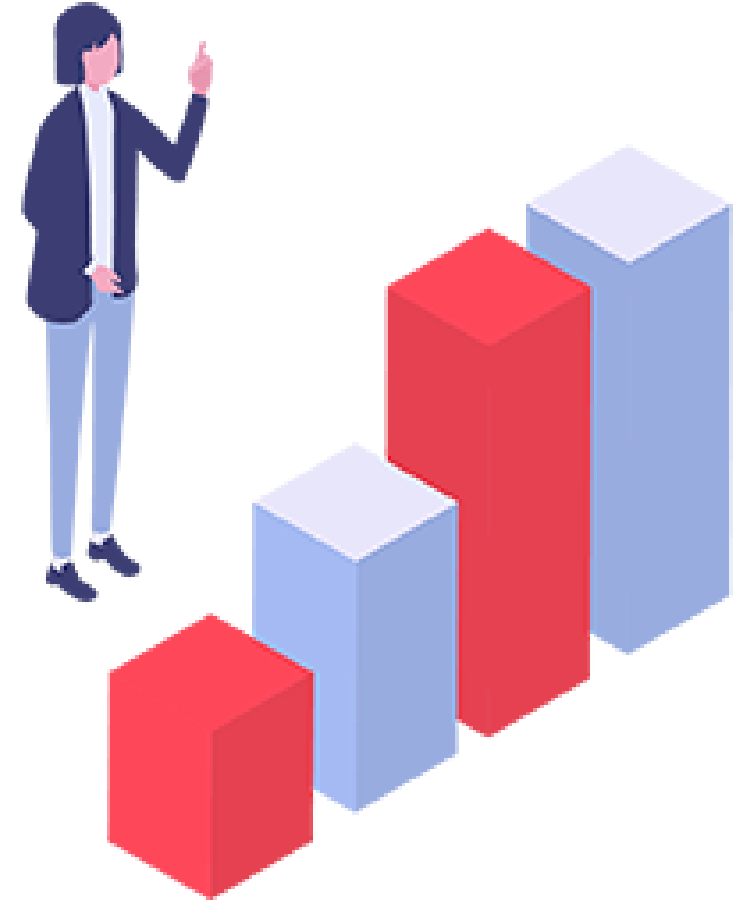
営業種目「105警備・受付」 は 「C」

同業者や競合相手が、こういった営業種目で**何等級**を取得しているのかを確認してみても、いかがでしょうか？

# 04

## 等級について

- 01 等級とは
- 02 等級を決定する格付の基準
- 03 等級についての注意点



## 【算出方法1】

### 客観的審査事項

年間総売上高、自己資本額、流動比率、営業年数などによって、**客観点数**を算出。

A、B、Cのランク  
に振り分け

【客観ランク】



## 【算出方法2】

### 主観的審査事項

営業種目ごとの年間売上高によって、**主観数値**を算出。

A、B、Cのランク  
に振り分け

【主観ランク】



## 【算出方法3】

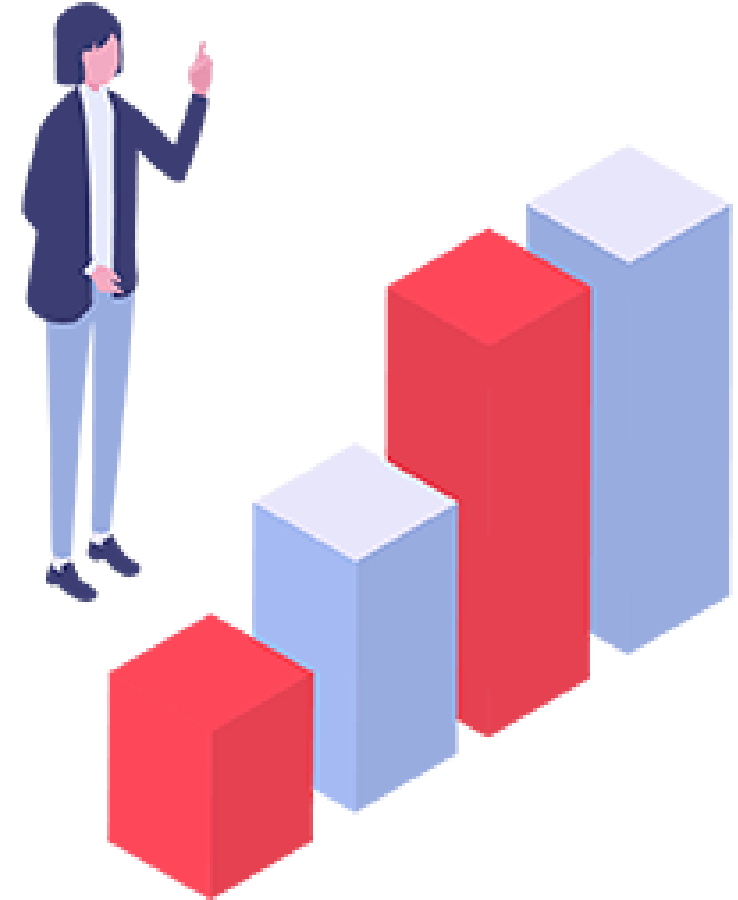
### 等級

【客観ランク】  
【主観ランク】  
のどちらか**低い方**が、  
最終的な御社の  
等級になります

# 04

## 等級について

- 01 等級とは
- 02 等級を決定する格付の基準
- 03 等級についての注意点**



## 【注意点 1点目】

- 等級を操作することはできません。
- 「〇〇という営業種目で、**A**を取りたいです」 → ×
- 「**B**じゃないと、困ります」 → ×

等級は、客観数値、主観数値から厳正・公平に算出されるものですので、希望通りの等級を取得できるわけではありません。



## 【注意点 2点目】

- 売上高 0 円の営業種目については、**無格付**（X）になります。

**無格付** = 「A」 「B」 「C」 の等級がつかないこと



東京都が無格付の会社に積極的に案件を発注することは  
ありませんので、営業種目ごとの売上高を割り振る際に、  
誤って「0円」を入力しないように気を付けてください。

1. 東京都の入札に参加する際に、1番初めにすることは？
2. 電子証明書 + ICカードリーダは、どこから購入？
3. 購入申込から発行までの期間は？
4. 電子証明書 + ICカードリーダを、利用するには？
5. 利用できるPCは？
6. 申請の際のスケジュールは？
7. 営業種目、取扱品目の選択に誤りはないですか？
8. 営業種目、取扱品目の売上高の割振りに誤りはないですか？
9. 等級の格付基準は、理解できましたか？
10. A、B、Cの等級を選ぶことはできるんですか？

**「面倒な手続きは、すべて、外注したい」  
とお考えの方は**

**行政書士法人スマートサイドに  
ご依頼ください！**

- ① 電子証明書購入の申込、受取手続きも代行
- ② 行政書士紹介割引の適用あり
- ③ 御社に伺ってP C設定可（都内事業者に限る）
- ④ 弊所のP Cで申請手続き可
- ⑤ 承認、否承認の通知も確認
- ⑥ 受付票や資格結果通知書のプリントアウトも可

- 電子証明書 / ICカードリーダーの申込・受取代行 55,000円
- パソコンの設定（2時間まで） 33,000円
- 電子申請（1～4営業種目） + 必要書類電子送付 110,000円
- 履歴事項全部証明書（1通） 2,200円

※ 電子証明書 + ICカードリーダーの本体価格（購入価格）は、含まれておりません。

※ 申請営業種目が5～7業種の場合 **+33,000円**。

申請請営業種目が8～10業種の場合 **+66,000円**。

※ 詳しくは→<https://www.toukyouto-nyuusatsu.jp/ryokin>

**9割** 事前知識が  
資格申請は  
入札参加

東京都入札資格(物品・委託)と  
全省庁統一資格

村横 行政書士法人スマートサイド  
上内 賢 著  
未賢 来郎 著

- ☑ 資格を申請する際の注意点がわかる!
- ☑ 手続きの流れ、申請スケジュールがわかる!
- ☑ パソコン設定や電子証明書の準備がわかる!
- ☑ 等級・発注価格をシミュレーションできる!

行政書士法人スマートサイドが書いた  
入札参加資格申請手続きの入門書

Parade Books

本日お話しした内容が、ほぼ網羅されています。読むのが早い人は、30分もあれば、読むことができます。

東京都の入札(物品・委託)の他に全省庁統一資格の申請についても記載されています。

はじめての方のための  
経営事項審査  
“入門書”

経審の基本と6社の申請事例を  
わかりやすく解説

**初心者、必見!**

行政書士法人スマートサイドが書いた  
経営事項審査申請手続きの入門書

Parade Books

公共工事の入札に参加するための事前手続きとして必要な「経営事項審査」について、特化して記載した本です。

公共工事の入札にチャレンジしたい建設業者にお勧めの1冊です。



いずれもAmazonでのみ購入可能です!

<https://www.amazon.co.jp/-/e/B0B48WTWS6>

- **Y o u T u b e** <https://www.youtube.com/@smart-side>
- **T w i t t e r** [https://twitter.com/smartside\\_staff](https://twitter.com/smartside_staff)
- **メルマガ** <https://smart-side-web.jp/mail-magazine/>
- **ホームページ** <https://www.toukyouto-nyuusatsu.jp/>  
<https://www.zen-shouchou.jp/>

などを通じて、入札参加資格についてのことや、建設業許可についてのこと、銀行との取引のことについて、有益な情報提供を行っています。

東京都の入札参加資格申請は、誰にでもできる簡単な手続きではありません。

みなさんの目的は、何ですか？

みなさんの目的が「自分だけの力で入札参加資格を取得する」ということであれば、それでも構いません。しかし、みなさんの目的は「入札参加資格を取得する」ことではなく、「**実際に入札案件を落札し、会社の売上UPに貢献すること**」にあるはずです。

そうであるならば、入札参加資格の取得は、スタート地点にたどり着く、準備の段階にすぎません。準備の段階で、なかなか前に進めず、労力を使って、時間を費やしているようでは、いつまでたっても目的を達成することはできません。

みなさんはみなさんの本業に集中し、**手続きについては、外部の専門家に外注し、ストレスなくタイムロスなく、東京都の入札にチャレンジ**してみたいはいかがでしょうか？

みなさんの会社が1日でも早く東京都の入札参加資格を取得して、東京都の案件を落札されることを祈念して、今日のセミナーを終わりにしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。





# 行政書士法人スマートサイド

東京都文京区小石川1-3-23 ル・ビジュー 601

